

3 学期 始業式 あいさつ

おはようございます。

新しい年を迎えました。今年は元旦に能登半島地震が発生し、多くの方が命を落としました。1 週間たった今でも 300 名以上の方が安否不明の状況です。翌日の 2 日には海上保安庁のヘリと日航機の衝突事故が発生しました。この事故でも海上保安庁の方が亡くなっています。亡くなられた方々に心より哀悼の意を表します。

そのような中で、今日こうして皆さんの元気な姿に会えて、安心しました。自然災害はいつどこで発生するか分かりません。特に、南海トラフ地震の発生も予測されています。昨年、各クラスに配布した「自衛隊防災 BOOK」を確認するなど、防災にもっと関心をもってください。

今日は松下電器、現在のパナソニックの創始者、松下幸之助さんが、新年に向けた言葉を紹介します。「日に新た」です。

『日に新た』

「心静かに年が明けて、心静かに新年の計を立てる。

まずはめでたい新春の朝である。

人はさまざま。人のさだめも その歩みもまたさまざま。

さまざまななか、さまざまな計が立てられる。

そんななかでも大事なことは、今年は去年のままであってはならない ということ、
きょうは昨日までのままであってはならない ということ、

そして、明日はきょうのままであってはならないということである。

万物は日に新た。

人の営みもまた、天地とともに日に新たでなければならない。

憂き事の感慨はしばしにとどめ、去りし日の喜びは、これをさらに大きな喜びに変えよう。

立ちどまってはならない。きょうの営みの上に明日の工夫を、明日の工夫の上に、あさっての新たな思いを。

そんな新鮮な心を持ちつづけたい。

そんな思いで、この日この朝を迎えたい。」

みなさんが新年を迎え、決意をしたことは、この言葉どおり、ひとり一人違うと思います。

大学進学に向けてラストスパートすること、卒業や進級に向けての強い思い。
部活動での目標。など……

皆さんもこの言葉のように、立ちどまらずに、きょうの自分に明日の目標を、

明日の自分にあさっての目標をしっかりと持ってください。2学期の終業式で話したように時間を大切にしてください。

きっと、素敵な1年になることと思います。

令和6年が生徒の皆さんをはじめ、この場にいるすべての人にとって素敵な年になることを祈って3学期の始業式のあいさつとします。